

NAGRA



CDC

CD Concept Player

CDP

CD Player

CDT

CD Transport



ナグラは1951年、ステファン・ケデルスキーの開発したポータブルテープレコーダーの製産によって誕生しました。ナグラ(録音する)というブランド名を冠して以来、世界の報道、諜報、映画産業ではなくはならぬ精密ロケーション録音機として名声を博しました。あらゆる分野においてその音質、機能、信頼性が高く評価され、アカデミー賞2回、エミー賞2回、グラミー賞1回を受賞しています。これはその信頼性と品質に対する各界のエリートプロによる評価であり、オーディオメーカーとして唯一無二の存在です。

そのナグラから伝説のテープレコーダー・ナグラ4-S、デジタルレコーダー・ナグラVなどの技術を投入したCDプレーヤーシリーズ3機種が発売されます。厳しい報道、諜報、録音業界のプロを相手に注いだノウハウをそのまま投入し、全く同じ制作チームによってハイエンドオーディオモデルを約10年に渡り開発してまいりました。CDシリーズは録音、再生について、極めて高い評価を得ているナグラより、プリアンプ機能を持った、CDC、プレーヤーCDP、そしてトランスポートCDTというラインアップです。

ナグラはあえてPCMディスクの可能性を広げることを目的にプレーヤーを開発しました。CDは20年の歴史を持ち、これからも安定的に供給されていくパッケージソフトという認識に立ち、その可能性を極限まで追求する、というのがナグラの考え方です。愛情と技術を注げば、CDの可能性を大きく高めて、非常に高品位のオーディオ再生を行えることに自信を持ったからに他なりません。

プレーヤーメカニズムにはフロントローディングとトップローディング方式の長所を兼ね備えた独自の方式を採用しました。トップローディングは自動引き出しに付随する耐久性、ディスク位置問題、消耗度、信頼度の面で優れています。ディスクの中心を正確に出す様にトレイに載せるということはサーボシステムのエラー補正、トラックの進行などを考慮すると非常に重要である、と捉えました。トップローディング方式の利点を認識しているにも関わらず、フロントローディングが好まれるのはその利便性によるものでしょう。設置に関する制限が軽くなります。理想的なナグラの解決方法は両者のいいとこ取りです。ナグラ・モノブロック・トレイと呼ばれるこの方式は、ドローワーにはディスクトレイのみならず、プレーバックモジュールが搭載されています。プレーバックモジュールのサポートにはナグラVハードディスクレコーダーのモジュールをサポートする方式と全く同じシリコンサスペンションメカニズムを採用しました。モノブロックユニットはとても頑丈で分厚い構造です。構造を形成するアルミは一つ一つ酸化を防ぐように処理されていますし、メカ自体は特に安定的にディスクを保持します。ドローワーのレールは硬度に精密化されたもので、その許容度はドローワーとガイドレールの許容差を2ミクロン以内と規定しました。ドローワーの動きは繊細で、ラックアンドピニオンギアを介して火星探索機に使用されたメーカーに依頼した精密プラネタリーリダクションモーターによって駆動されます。メカニズム自体はフィリップスCD-Pro2Mを使用しましたが、エレクトロニクス部分はナグラ独自の設計製造です。

トレイ上のクランプはセンタリングをきっちり出すため、ナグラにより切削されたものです。重量、サイズ、材質など、全てモーターに負担をかけずに所期の目的を果たすための最適点を図りました。LCDディスプレイもトレイにマウントされていますが、完璧なシールディングがなされています。

トップカバー、フロントパネルは10mm厚のブロックで強靱な構造です。ナグラ自社によるメタルワークで切削加工を行うからこそ完成した、徹底的に精密生、耐久性、信頼性を追求したつくりです。

デジタル信号経路は完璧な44.1kHz周波数が保証されており、ナグラ独自のサンプリ

ング技術によって有害な機械的、電氣的干渉を完全に排除しています。アナログ変換には8倍オーバーサンプリング処理でコンバートしています。デジタルビットストリームにおいてクロックの完璧な同期はジッターによるドリフトを回避するのに重要なポイントです。多くのプロデジタルオーディオ機器を供給した経験から、ナグラはこの点が決定的に大切なポイントと理解しました。回路も可能な限りコンパクトに仕上げ unnecessaryな複雑さを排除して制作しました。ハードアルミより削り出して作成したシャシーと金メッキでカプセル化されたDAC部分によって有害電波はシールドされ、使用しているパーツ類はヒアリングを重ねて選別しました。録音状態をそのまま再現すること、何も付け加えない透明度を持った回路にすることを目標に、ナグラのプロ技術団がノウハウを注ぎ、高品質の回路を作り上げたのです。

回路とトランスポートを含めて9カ所のディスクリート電源がありますが、その供給は12V定電圧電源よりなされます。デジタル部分には全体のクロックとして使用されるリファレンスクロックと同期するカプリングコンバーターによって電源供給がなされ、アナログ回路には低ノイズDC電源を用意されています。電源はハードアルミによる別筐体に組み込まれ、本体にAC電流や高電圧が流れ込まぬ様に熟慮されています。CDシリーズは世界で最も厳しいCE規格をクリアー、電磁波の放射基準もCE規格に適合しています。

基盤はナグラ・プロ規格の多層基盤ですが、グラウンド、パワー電源がそれぞれに分離されていますので、シグナル経路は他の層からの干渉を完全に排除しています。プレーヤーハウジングも交流、高電圧を使用していませんので、放射干渉から逃れています。外部電源からの+12Vはフェライトが装備されて、パワーケーブルのアンテナ効果をなくしました。

フロントパネルに配置されたユーザーの手に触れるスイッチやノブなどは、ナグラの50年を超える経験を存分に生かした、優し機敏な作動感を約束します。各スイッチの操作性は心を和ませる魅力さえ備えていると言えます。

全てのモデルの操作はリモートコントロールによっても行え、プレーヤーの状態はフロントパネルLCDによって確認できます。サイズはナグラプリアンプ、PL-L、PL-Pと同サイズで、しかもフロントローディングですからスタックして使用でき、非常に魅力的なかたちのオーディオフロントエンドとなったのです。

プリアンプ機能を持ったCDCはディスクの状態を視覚的にもモニター可能なナグラ伝統のモジュールメーターを装備し、ナグラDNAを色濃く反映したモデルとなりました。

CDシリーズはディスクの情報を細大漏らさず読み取ることで、洗練度が高く、演奏情景を彷彿とさせるダイナミックな演奏をリスナーの眼前に再現します。一音一音の粒立ちをシルクの肌触りの滑らかで力強いタピストリーに織り上げて、音楽はあるべき姿のまま再現されます。2000名を越す技術集団に発展していますが、ナグラのフロンティアスピリットは現在の組織にも連綿と受け継がれています。コンパクト、高信頼性、独特のかたち、そして高性能。オーディオメーカーとして必要な全ての条件を備えた理想的なメーカーと言えます。アルプスを見渡すレマン湖畔のローザンヌ工場で、熟練者の手によるナグラ基準の丁寧なハンドメイドで制作される機器は、スイスメイドの名声に恥じない製品です。深く豊かに、私たちはオーディオと音楽を楽しみたい。ナグラを所有し使うよろこび、それはあなたに充実の時を約束します。限りなく澄みきったスイスの青空、聳え立つ清きたおやかな峰々、その急峻な立ち上がり、紺碧と白銀とのコントラストを連想させるクールで熱い演奏。それがナグラです。

Specifications



フォーマット プログラミン リモートコントロール D/A変換	CD Audio 20トラック以下 NAGRA RECS80 プロトコル 24bit ASA アドバンスセグメント アーキテクチャ オーバーサンプリング8倍 (352.8kHz)	THD チャンネル セパレーション アナログ出力	0.003%以下 90dB バランス(XLR)、アンバランス(RCA)	デジタル出力	AES/EBU(XLR)1系統、SPDIF(RCA)1系統、TOSLINK(Optical)1系統
周波数帯域 S/N比	20Hz - 20kHz(+0/-1dB) 108dB以上 (ASA A方式にて測定)	インピーダンス 出力レベル ヘッドホン出力	XLR/600Ω, RCA/50Ω 3.5V or 1Vrms at 0dB FS 6.35mm(1/4 inch)ジャック、 出力インピーダンス 50Ω	ジッター歪み 外部電流 消費電力 重量	測定不能レベル (VCXO NAGRA technology) 12V DC 6w(連続)、最大12w 4.0kg
				外形寸法	310mm(W) × 76mm(H) × 254mm(D)

このカタログに記載の仕様、規格、および外観などは改善のため予告無く変更することがあります。また、図版の色彩は印刷インキや撮影条件などにより、実際の色と異なる場合がございます。あらかじめご了承ください。

